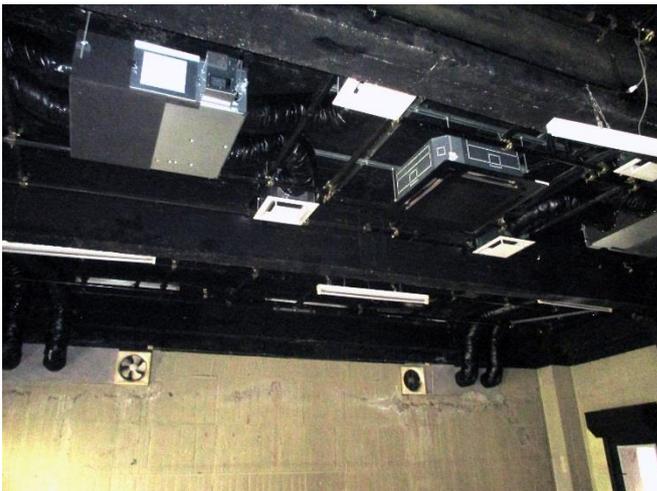


東京芸術座アトリエの換気設備の設置について

お客様を迎えるにあたり、ガイドラインを踏まえた対応を講じ、感染リスクを軽減させることを目指して換気設備の設置工事を行いました。



調節した温度や湿度を逃さず換気できる、全熱交換器です。



全熱交換器により、室内と室外の空気を効率的に換気することで、快適な室内環境を保ちます。

室内と室外の空気を交換する部品を通して、熱を交換しながら空気を取り入れています。

新型コロナウイルス感染を拡大させるリスクが高い3つの条件（いわゆる「三つの密」）の1つとして、換気の悪い密閉空間が挙げられています。

公益社団法人全国公立文化施設協会が策定したガイドラインでは、施設内の感染防止策として、各種法令等により整備が定められている空気調和設備の機能を運用することが提唱されています。換気性能として、一人あたりの換気量 $20\text{m}^3/\text{時}\cdot\text{人}$ を確保できる機能を有することとされています。

この度、アトリエに設置した換気設備では、厚生労働省推奨換気量（ $30\text{m}^3/\text{時}\cdot\text{人}$ ）を確保することができます。公演中のドアを閉めた状態の密閉空間でも、外気を取り入れ室内の空気を排出することのできる換気設備を導入し、感染対策をいたしました。